

(第3種郵便物認可)

県内18会場「ゆるゆる運動会」



オンラインでぐつ オンラインな玉入れやクイズ競う

県内19の放課後等デイサービスに通う小学生を中心に166人が参加。カラフルなボールを使った玉入れや、赤と白の旗をタイミング良く上げ下げするゲームなどに取り組んだ。ヒントを基にスポーツの競技名を当てたり、五輪の正しいシンボルマークを選んだりするクイズにもチャレンジし、各会場の得点を競った。

実行委の長谷川暁信事務局長は「オンライン開催はコロナ禍だからというだけではなく、発達障害児への新しい支援の形にながる。県内や全国に広まっていけばいい」と話した。北日本新聞社後援。

発達障害のある子どもたちがスポーツを通して交流する「富山県放ディゆるゆる大運動会」が5日、富山市の県空港スポーツ緑地などで開かれ、参加者が玉入れやクイズなどを楽しんだ。新型コロナウイ

ルス対策と子どものストレス軽減のため、県内18会場をオンラインでつないで実施。主催団体は障害児に安心してもらえる支援の形を今後も探っていくたい考えだ。

(野村達也)

発達障害児楽しく交流